







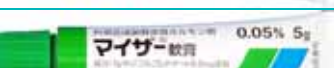














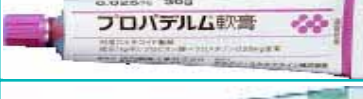



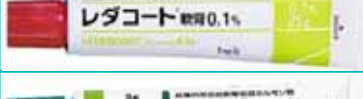





《ステロイド外用剤の作用の強弱による分類表》

外用ステロイド剤（副腎皮質ホルモン剤）は、抗炎症作用と血管収縮機能の強さによって以下の5段階に分けられています。（この資料は、病院でもらうステロイドの外用剤を分類してあります。）
 なお、各分類内の掲載順序は、強弱とは関係ありません。また、軟膏剤とクリームにより、作用の強弱が異なるものもあります。

<表を見る前に、知っておいて頂きたいこと>

皮膚は体の場所によってその厚さが異なります。ですから、同じ様な症状でも、塗る場所によって使われる薬の強さが異なってきます。
 例えば、「顔、首、脇の下、腕、足の関節の内側、外陰部」などは皮膚が薄いので、弱めのステロイド剤でも効果が出ます。それに比べ「腕、足、胴体」などは比較的皮膚が厚いので、強めのステロイド剤が使われます。「手のひら、足の裏」は体の中でも最も皮膚の厚い部位なので、最強ランクのステロイド剤が使用されることが多いようです。
 なお、乳幼児は全体的に大人に比べて皮膚が薄いので、弱い薬が用いられます。
 炎症が強い時は、燃え盛っているたき火のような状態なので、少量の水（弱いステロイド剤）では火が消えません。そこでまず炎症を鎮めるために強いものを用い、症状が治ったら弱いものに切り替えてゆく、という方法がとられることもあります。

分類	一般名	主な商品名 (会社名)	製品外観(例)	安全性の目安			
				期間		使用量	
				四肢・ 体幹	顔面・首・腋 か・外陰部	成人	小児
Strongest 最も強い	プロピオン酸 クロベタゾール	デルモベート軟膏 クリーム(GSK)		4週間 以内	2週間 以内	5g/日 以下	2g/日 以下
		ソルベガ軟膏 クリーム・ゲル(久光)					
	酢酸 ジフロラゾン	ジフラル軟膏 クリーム(アステラス)					
		ダイアコート軟膏 クリーム(ファイザー)					
Very Strong とても 強い	フランカルボン酸 モメタゾン	フルメタ軟膏・クリーム ローション(塩野義)		6週間 以内	3週間 以内	10g/日 以下	5g/日 以下
	酪酸プロピオン酸 ベタメタゾン	アンテベート軟膏 クリーム・ローション(鳥居)					
	フルオシノニド	トプシム軟膏・クリーム ローション・スプレー(田辺)					
		シマロン軟膏・クリーム ゲル(テイクメディック)					
	ジプロピオン酸 ベタメタゾン	リンデロンDP軟膏 クリーム・ゾル(塩野義)					
	ジフルブレドナード	マイザー軟膏 クリーム(田辺三菱)					
	アムシノニド	ビスダーム軟膏 クリーム(テイクメディック)					
	吉草酸 ジフルコルトロン	ネリゾナ軟膏・クリーム リユーション(インテディス)					
		テクスメテン軟膏 クリーム(佐藤)					
	酪酸プロピオン酸 ヒドロコルチゾン	パンデル軟膏・クリーム ローション(大正富山)					

分類	一般名	主な商品名 (会社名)	製品外観(例)	安全性の目安			
				期間		使用量	
				四肢・ 体幹	顔面・首・腋 か・外陰部	成人	小児
Strong 強い	プロピオン酸 デプロドン	エクラール軟膏・クリーム ローション(鳥居・久光)		8週間 以内	4週間 以内	20g/日 以下	7g/日 以下
	プロピオン酸 デキサメタゾン	メサデルム軟膏 クリーム(大鵬)					
	吉草酸 デキサメタゾン	ザルックス軟膏 クリーム(アポットジャパン)					
		ボアラ軟膏 クリーム(マルホ)					
	ハルシノイド	アドコルチン軟膏 クリーム(第一三共)					
	吉草酸 ベタメタゾン	リンデロンV軟膏 クリーム・ローション(塩野義)					
		ベトネベート軟膏 クリーム(第一三共)					
		トクダームテープ (大鵬薬品)					
	プロピオン酸 ベクロメタゾン	プロパデルム軟膏 クリーム(協和)					
	フルオシノロン アセトニド	フルコート軟膏 クリーム・スプレー(田辺三菱)					
Medium 中間	吉草酸・酢酸 プレドニゾロン	リドメックス軟膏 クリーム・ローション(興和)		幼小児や老人では副作用が生 じやすいので、Medium以下の ステロイド外用剤を選択			
	トリアムシノロン アセトニド	ケナコルトA軟膏 クリーム(第一三共)					
		レダコート軟膏 クリーム(アルファファーマ)					
	プロピオン酸 アルクロメタゾン	アルメタ軟膏 (塩野義)					
	酪酸クロバタゾン	キンダベート軟膏 (GSK)					
酪酸 ヒドロコルチゾン	ロコイド軟膏 クリーム(鳥居)						
Week 弱い	デキサメタゾン	オイラゾンD軟膏 (パルティス)		非ステロイデ性消炎外用剤で も代用可能			
	プレドニゾロン	プレドニゾロン 軟膏・クリーム(タミ)					
	フルドロキシ コルチド	ドレニゾンテープ (大日本住友)	